

～レースレポート 2025 冬 K4-GP FUJI 7H 耐久～

GLWレーシングチームが

K4-GP

富士スピードウェイに帰ってきました！

2025/02/08(土)～2025/02/09(日)

静岡県小山町@富士スピードウェイ

■大会概要

日程: 2024/02/08(土)～2025/02/09(日)

場所: 静岡県小山町@富士スピードウェイ

総 Lap 数: 122 Lap

予選順位: 9 位/40 台

■ドライバー振り分け

1st スティント: 岡崎善衛

2nd スティント: 神田亜季

3rd スティント: 野島真由美

4th スティント: 杉浦真吾

5th スティント: 大野秀昭

■リザルト GP-2F 21 位/40 台

GP-2F		Start Time :8:59'54		Finish Time :16:05'37.525		Entry :40		Start :40	Finish :40
1	903	クライススポーツ	アリーナ橋本CLアルトバン	134	7:05'43.525	86.131		2'28.965	94
2	25	KTP AZUL	KTPアッスル アルトワークス	132	7:04'51.703	85.018	2Laps	2Laps	2'30.432 86
3	72	TEAMMORI SUNOCO	アルトMORI SUNOCO	131	7:05'29.812	84.247	3Laps	1Lap	2'29.261 96
4	334	三輪走行同好会	ケツアタック★アルト	130	7:04'48.030	83.741	4Laps	1Lap	2'29.807 116
5	368	スタンスマジック	スタマシアルト	129	7:05'03.541	83.046	5Laps	1Lap	2'30.346 113
6	612	FUSION RD	FUSION RD エッセ	128	7:01'59.831	83.000	6Laps	1Lap	2'34.066 64
7	707	ハーテリルーキーズレーシング*	ワンポイントルーキーズアルト	128	7:05'19.973	82.349	6Laps	3'20.142	2'27.150 23
8	44	達心レーシング*	達心アルトバン改	127	7:01'08.517	82.518	7Laps	1Lap	2'31.979 114
9	550	TEAM花道	ハナミチ☆アルト	127	7:01'28.056	82.454	7Laps	19.539	2'31.140 77
10	390	ZtoAUTO CSW自動車部	CSW390AGS	126	7:01'12.713	81.854	8Laps	1Lap	2'31.174 105
11	88	FRC	FRC☆367アルト	126	7:01'18.643	81.835	8Laps	5.930	2'33.058 118
12	904	クライススポーツ	マコトスポーツ367アルトV	126	7:01'25.219	81.814	8Laps	6.576	2'31.763 45
13	185	BRIG	BRIG☆BILS	126	7:02'59.717	81.509	8Laps	1'34.498	2'32.027 29
14	306	チームプロシード*	アルトMT-1	126	7:05'00.298	81.124	8Laps	2'00.581	2'35.417 108
15	881	KRAFTレース部	KRAFT☆峡東BS☆アルト	125	7:03'33.916	80.753	9Laps	1Lap	2'34.509 100
16	235	トップカロリスト	赤エッセ☆トップカロリスト	125	7:03'52.687	80.694	9Laps	18.771	2'33.038 18
17	415	STUレーシング*	STUレーシングエッセ	124	7:00'58.191	80.601	10Laps	1Lap	2'31.034 72
18	645	2軍オヤジドリフターズ*	CLEAVE Racingミラ	124	7:04'11.819	79.988	10Laps	3'13.628	2'33.646 112
19	884	884 Racing	884 Racing アルト	124	7:05'24.420	79.760	10Laps	1'12.601	2'36.491 63
20	19	TEAM14期	TEAM14期エッセ	123	7:04'37.741	79.261	11Laps	1Lap	2'35.640 19
21	760	GLW Racing	GLWRacing犬警アルト	122	7:01'17.385	79.240	12Laps	1Lap	2'34.197 15

2025年2月8日~9日にかけて富士スピードウェイにて開催されたK4GP冬の7時間耐久レースにGLWレーシングチームが参戦しました！昨年夏の5時間耐久レースにGLW代表の大野秀昭がスポット参戦したことを皮切りに、今回は5人の全ドライバーをGLW社員で構成し、仲間内でレースに臨むこととなりました。2023年度にFCR Vitz Raceに参戦して以来2年ぶりの正式にGLWレーシングチームが富士スピードウェイに帰って来ました！2024年シーズンはラリーに初挑戦し、公道および林道での走りにフォーカスしてきましたが、やはりサーキットの雰囲気からは独特の重みを感じる2日間でした。

まずレース前日の2月8日に行われた予選には、エースドライバーの岡崎善衛が出走しました。アルトバンという初めて乗車する慣れない車かつ、最低気温が-4.5°Cを記録する難しいコンディションの中、なんとか9位にこぎつけることができました。

クラス全体の上位1/4に入り、悪くないスターティンググリッドを獲得できたものの、かつて「富士には俺が宿る」と豪語していた期待値からは少なからず劣る結果でした。

さて、日は変わって2月9日のレース当日となりました。

決勝レースでは、総監督の佐々木良典と電子制御開発部リーダーの塚本圭がレースエンジニアを務め、ラップタイムや燃費を細かく管理し、適切なピットストップおよび給油タイミングの指示やドライビングのアドバイスを行いました。

またBirth Racing Project【BRP】さんにメカニックを依頼し、終日きめ細やかな対応で万全のサポート体制を作っていただきました。

1stドライバーの岡崎善衛は前日の辛い予選順位を挽回すべく、スタートから全開で飛ばしていく予定でした。ところがスタート直後の開始2分で早くもセーフティーカーが出動します。セーフティーカー先導中に早くも給油をする車も現れるなど混乱で始まった序盤の展開でしたが、セーフティーカー明けの6周目終了時点までで岡崎はクラス内5位まで順位を上げることができました。

本来2時間を岡崎が走り続ける予定でしたが、1時間40分が経過した折に再びセーフティーカーが導入されたため、そのタイミングピットインおよびドライバーチェンジをすることとなりました。

チームごとに交代のタイミング等の戦略の違いはありますが、1stスティントを担当した岡崎善衛は最終的に5位の好位置で交代し、前日の汚名を晴らす良い走りを見せました。



日頃法人営業として活動する2ndドライバーの神田亜季も豊富なサーキット経験を持ち、なんとか順位を維持したまま後に走る2人のルーキードライバーに繋げることが求められました。セーフティーカー明けの混乱も無事に切り抜け、5位をキープし続けます。当初の想定よりも燃費も気にする必要がないほど保ちが良く、ドライバーチェンジのタイミングも測りやすいことが判明し、クリーンに見事なレース運びを見せた神田が1時間10分ほど走った矢先、再びセーフティーカーが導入されました。そのタイミングで神田もピットインし、後続のルーキードライバー2人にバトンを繋ぎました。

3rdドライバーの野島真由美は普段はスポーツカーの設計エンジニアとして活躍しており、ドライバーとしてはミニサーキットでの経験がありながらも国際サーキットは今回の K4GP がデビューとなりました。前日の練習走行の時間を目一杯使いながら感覚を養いましたが、エースドライバーとはラップ 15 秒ほどの違いとなり、まずはこのギャップを少しでも埋めていくことが求められました。

ドライバーチェンジおよび給油の際に給油待ちが発生してしまい、交代前が 5 位だったところ、ピットアウト後は 11 位まで順位を落としての合流となっていました。

その後は徐々にサーキットの環境にも慣れ、練習走行を上回るラップタイムで周回を重ねました。経験値の差により、一時は 17 位まで順位を落としましたが、1 時間 10 分ほど走行し最終的には 11 位にてピットインしました。

ところがドライバーチェンジを試みていたところ、エンジントラブルによりかなりのロングピットストップとなっていました。そのためピットストップ後は 16 位と大幅に順位を落としてのスタートとなりました。

4th ドライバーとして出走した杉浦真吾は平日は人事部で働いています。杉浦は 2024 年からラリーチャレンジにコ・ドライバーとして出走をしていますが、ドライバーとしての腕は未熟そのものであり、今大会最も大きな不安要素でした。序盤は順調にラップを重ね、10 周を回った頃にはエースドライバーから

5 秒落ちのタイムまで近づくことができました。しかしながら出走して 30 分ほど経過した頃、痛恨の単独スピンを起こしてしまい、大幅なタイムロスとなりました。その後も強引な飛び込みにより前方を走るライバル車に衝突するなど、初参加ならではの精細を欠く走行となりました。

その結果第 4 スティント後のピットアウト時の順位は 24 位まで落ちてしまいました。



トリを飾る GLW 代表の大野秀昭はラリー・サーキットともに経験豊富なドライバーであり、ここからの 2 時間近い最終スティントで大幅な巻き返しを期待されて最後の襷を引き継ぎました。大野はスタート間もなく、路面温度も上がりグリップ力が強化したことも味方し、序盤の数周で 5 台を早々にオーバーテイクし、19 位まで順位を上げることができました。ところが途中、背後からの接触によりミラーが閉じてしまうというトラブルに見舞われ、追加でのピットストップを余儀なくされました。

余計なピットストップにより順位を 3 つ落としましたが、最後に 1 台を追い抜き、最終的に 21 位でフィニッシュしました。

最低でも半分よりも上に行きたかっただけに悔やしい思いを感じる順位ではありましたが、GLW レーシングチームとして初めて複数ドライバーによるサーキットの出走をすることができた経験は、非常に貴重なものとなりました！

大会にはかつて長期インターンをしていた学生も駆けつけ、エールを送ってくれました。彼が楽しんでくれていたら嬉しい限りです。

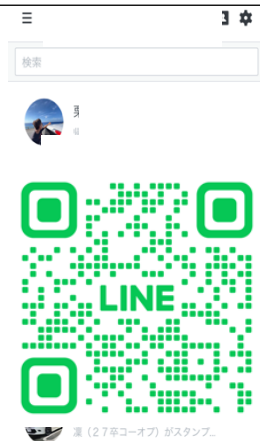
今後も継続的に K4GP には参戦し続け、ゆくゆくは若手社員たちに走行から運営までの全てを引き継いでいきたいと考えています。今シーズンは Toyota Gazoo Racing Rally Challenge に参戦します。応援よろしくお願いいたします！



各種 SNS やっています！

公式 LINE

候補者との主要連絡手段



YouTube

毎日投稿

日本語 8 割・英語 2 割



Facebook

主に海外からの需要



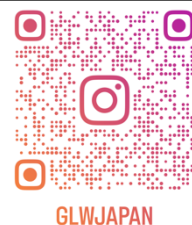
Linkedin

海外向け情報発信・採用



Instagram

リール投稿してます！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業3年目の若い会社ですが、社員数は既に90人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が7割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 海外戦略部/人事部 シニアリーダー 杉浦 真吾

TEL: 045-900-8393 E-mail: newg-recruit@glw.co.jp

